

厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（2025 年 12 月 23 日）

厚生労働省は令和 6 年（2024 年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況を公表しました。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/index.html>

国内の医師数 34.8 万人で過去最多となり、診療所の医師数が増加しました。都道府県別では（人口 10 万人当たり）徳島県が最多で 345.4 人、最少は埼玉県で 189.1 人でした。

[https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06\\_1gaikyo.pdf](https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06_1gaikyo.pdf)

### 〔医師の概要（増減はすべて 2022 年との比較）〕

=人数=

- ・全国の届出「医師数」は 34 万 7,772 人
- ・「男性」は 26 万 2,801 人（75.6%）、「女性」は 8 万 4,971 人（24.4%）
- ・令和 4（2022）年との比較で 4,497 人（1.3%）増
- ・人口 10 万人当たりの医師数は 280.9 人で、6.2 人増

=施設・業務=

- ・「医療施設の従事者」は 33 万 1,092 人（95.2%）で、3,648 人（1.1%）増加した
- ・「医療施設の従事者」のうち「診療所」に勤務する医師が 11 万 1,699 人で 4.1%増したのに対し「病院勤務者」は 21 万 9,393 人で 0.3%減となった。
- ・「介護老人保健施設の従事者」は 3,337 人（1.0%）で、1.2%増
- ・「医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者」は 9,403 人で 2.4%増
- ・「医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者」のうち「産業医」が 19.0%増加したのに対し、行政機関の従事者は 1.5%減となった。

=診療科（複数回答）別=

- ・「内科」が 94,632 人（28.6%）と最も多く、次いで「消化器内科（胃腸内科）」が 29,511 人（8.9%）、「小児科」26,569 人（8.0%）となった。
- ・診療科を施設の種別にみると  
病院：「内科」（17.8%）、「整形外科」（7.0%）、「消化器内科（胃腸内科）」（6.7%）  
診療所：「内科」（49.7%）、「小児科」（13.3%）、「消化器内科（胃腸内科）」（13.2%）  
の順であった。

=都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口 10 万対医師数=

- ・医療施設に従事する人口 10 万対医師数は 267.4 で、5.3 増加した。
- ・都道府県別の最多は徳島県 345.4 で、次いで長崎県 333.8、京都府 333.2 であった
- ・最少は埼玉県 189.1 で、次いで茨城県 198.1、千葉県 213.3 であった
- ・診療科別では、主たる診療科が「小児科」の医師数（15 歳未満人口 10 万対）は、鳥取県が 187.3 と最も多く、千葉県が 101.5 と最も少ない。
- ・主たる診療科が「産婦人科・産科」の医師数（15～49 歳女性人口 10 万対）は、福井県が 66.4 と最も多く、埼玉県が 35.1 と最も少ない。